

## ウラジオストク滞在に関する報告について（1月分）

### 1. ウラジオストク国立経済サービス大学（ブグェス）での授業について

月	火	水	木	金
	会話・読解	文法・作文	会話・読解	文法・作文
			文法・作文	

12月30日（木）～1月9日（日）は新年休暇で、この間は大学の講義も休講となりました。まとまった時間が確保できたので復習に時間を充てましたが、学んだことの多さを忘れており、習得の難しさを改めて感じました。

### 2. 国内旅行（モスクワ市、ムルマンスク市）

新年休暇を利用して、年末年始の大半をモスクワ、ムルマンスクで過ごしました。モスクワは言わずと知れたロシア連邦の首都であり、ムルマンスクはムルマンスク州の州都で、ノルウェーやフィンランドとの国境に近い北極圏最大の都市です。旅の主な目的はムルマンスクでのオーロラの観測でした。この時期のムルマンスクは、極夜という現象が現れ、日中でも薄暗く調子が狂います。しかし、オーロラ自体は幸運にも観測でき、日本での初詣は叶いませんでしたが、新年の初めに幻想的な景色を拝めました。



（写真1 巨大なオーロラと私）

### 3. ブグェス理事長に対する勲章伝達式

1月27日（木）、総領事公邸において、令和3年秋の外国人叙勲受章者であるラザレフ・ブグェス理事長に対する勲章の伝達式が行われました。

ラザレフ氏には、ウラジオストク・トヤマ会会長や沿海地方とやま友の会代表世話人

をお務めいただいております。富山県と沿海地方の友好親善の推進にご尽力いただいております。この日は、令和3年外務大臣表彰受章者のスハレヴァ・ブグエス博物館兼展示コンプレックス館長に対する表彰状の伝達も行われました。



(写真2 両氏と吉田在ウラジオストク日本総領事館総領事との記念撮影)

#### 4. ウラジオストク市内の状況について

##### ・治安状況

今月、当地で日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

##### ・市内の様子

1月中旬には沿海地方でもオミクロン株の症例が見つかり、1日あたりの新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にあります。

(参考) 沿海地方の新型コロナウイルス感染状況 (2月4日)

累計感染者数 114,963人 累計死者数 1,724人

1日の感染者数 868人 1日の死者数 6人

(1月11日の1日の感染者数: 237人)

##### ・気候

1月のウラジオストクも引き続き、厳しい寒さが続きましたが、下旬頃には、これまでよりは比較的暖かくなりました。もちろんこれまで通り、厚めのコートや帽子は欠かせません。